

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0197600356		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家六番館		
所在地	北海道石狩市花川北6条3丁目16番地		
自己評価作成日	令和6年9月1日	評価結果市町村受理日	令和6年10月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&JigyosyoCd=0197600356-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年10月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

石狩市の住宅街にありますグループホームです。サービス付き高齢者住宅・小規模多機能型居宅介護が併設しており、施設内での利用者様との交流が図れています。ユニット1(2階)では「なやみ少なく、まいにちかんだう」をユニット目標に掲げております。職員だけの目標ではなく、入居されている利用者様も同じ悩みを持っていること、毎日を感じ動して過ごして頂きたいという意味を込めて、職員と利用者様の共通目標ということで全職員で考えた目標となっております。利用者様の持っている力を最大限活かし、職員と一緒に食事の準備や後片付けをしたり、レクリエーションに元氣よく参加されております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームハートの家六番館」は、石狩市花川にある2ユニットの事業所である。バス停から近く、緑が多い静かな住宅地に建っている。3階建ての2階と3階の一部がグループホームで運営推進会議や避難訓練を併設の事業所と合同で行っている。今年着任した管理者は、法人の地域サービス事業やグループホーム管理者としての経験を活かし熱心に取り組んでいる。職員と話し合い事業所独自の理念を新たに作成し、利用者が地域で心穏やかに過せるよう、家族とも常に情報を交換しながら生活を支えている。運営推進会議では、全家族に詳細な議事録と研修資料を送付し参加者の意見を得てテーマを検討している。職員と個人目標の達成度を話し合い、意向を勉強会に反映し計画的に行っている。記録の整備では研修、各会議録、介護記録、受診記録などが詳細な記載で状況が分かるように工夫されている。重度化から看取りになった時は家族が本人と安心して過ごせる環境を作り、職員は看取りを学び、ケアの質を高めながら温かな姿勢で対応している。感染症予防のもと、利用者は日々の散歩や買い物などで住民と触れ合い、地域のお祭りには作品を出展して見学している。事業所内では調理レクやおやつレクにおはぎ、恵方巻を作り、食の楽しみを一緒にに行い、本人の気持ちに寄り添う対応は家族に安心感を与えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに理念を設定しており、その目標に向かい日々努力しております。	新たに事業所独自の理念を話し合い、「住みなれた地域で心穏やかに安心できる生活を支援する」という内容を作成している。この機会に各ユニット理念の見直しも考えている。職員は理念を意識して地域との関係づくりを実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議にも参加して頂いている。また地域のお祭りに作品を展示し地域の祭りにも参加している。	普段は散歩や買い物などの際に住民と挨拶を交わしている。利用者は地域のお祭りに作品を出展し、見学する中で住民と交流している。高校生の実習を受け入れており、外部の方と触れ合う楽しみもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の町内会の会合にも参加し認知症サポーター養成講座の依頼も行いながら、運営推進会議内でも施設の取り組みなどお話ししている。又管理者は地域に出向き認知症サポーター養成講座を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月の最終金曜日に実施しており、家族様・町内会会長・民生委員様・石狩市の方にも参加して頂き話し合いを行っています。	町内会、行政、家族の参加を得て、定期的に開催している。救命講習の勉強会、感染症への対応、看取り実施などをテーマに意見を交換している。今後は参加者や家族の意見を得て認知症への理解など会議のテーマを増やしたいと考えている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	石狩市内の介護保険事業所、石狩市役所職員、社会福祉協議会職員等集まり、情報共有や石狩市の福祉サービスについて考える場を設けております。	管理者は市の医療、福祉を考える毎月の会議に参加し、意見交換や情報を共有して取り組んでいる。地域包括支援センターとは住民を対象にした認知症サポーター養成講座を行う方向で話し合っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で委員会を発足し、3ヶ月に1回委員会を行っています。その中での課題分析や各ユニット職員への情報提供なども行っております。年2回法人内の研修参加や事業所独自の勉強会を開催しております。	役職者を中心に委員会を定期的に開催し、全職員は議事録で内容を把握している。拘束は行われておらず、法人研修や勉強会で禁止行為の11項目も学んでいる。職員は研修内容を毎回報告し、言動を抑えないケアの理解を深めている。外に出たい様子があれば確認して同行している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会でお話した内容を職員に伝達しております。事業所内の勉強会や法人内の勉強会を行っています。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用するケースはありませんが、石狩市開催の勉強会などに参加し、支援ができるよう配慮しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様と契約書のご説明を行い、ご家族様からの質問等があればしっかり説明しご理解を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロアに意見箱の設置や運営推進会議でご意見を頂いております。	電話連絡のほか、管理者は家族との面談で本人の状態を説明しながら意向を聞いている。個人記録を基に職員は思いにそって丁寧に対応している。各ユニットで2～3か月ごとに写真を載せた手書きの便りを送り行事の様子などを知らせている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスやミーティングで職員に意見を頂いております。また個人面談も重視しており提案や意見を聞く場も開いております。必要に応じて職員からの情報等を法人本部にも報告しております。	毎月の会議では議題にそって意見を交換し、提案なども聞いている。評価制度の導入で管理者は年に4回の個別面談を行い、目標の達成や課題について一緒に話し合っている。学びたい研修内容も把握し研修計画に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回評価制度を導入しており、職員の頑張りなどを評価している。評価面談の中で悩みや意見なども確認し良いことに関して取り組んで頂けるよう支援している。評価面談結果で給料面等も考慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修参加、新人研修、個人研修なども導入することで個人のスキルアップにも力を入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	石狩市内の団体に所属し、多種職の方と打ち合わせを行っております。グループホーム連絡会の参加等も行い情報交換をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅・病院・施設に訪問して少しでも安心感をもって頂けるよう配慮しております。認知症の状況に合わせて訪問回数の設定や入居前までに不安が少しでも改善できるよう配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学対応から不安等の聞き取りを行うことで、ご家族様が安心してお任せ頂けるようにお話しております。又悩み等はしっかり傾聴し双方が納得できるよう配慮しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族様と面談を行い、必要な支援やサービスを説明しております。身体状況や精神状況に合わせて福祉用具の活用や医療の協力等も相談しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り本人の持っている能力を活かして生活頂けるよう支援しております。一緒に活動することで一体感を持ち利用者様の存在感を感じて頂けるよう配慮しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人やご家族様の希望に応じて、都度電話でお話ししたり、悩みをお話しできるよう面会や外泊して頂き対応しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会も随時行っている。外出も可能の為ご家族様と馴染みの場所にも行かれています。	数か月ごとに友人が来訪し楽しむ方がいる。以前からの美容室を利用し、海を眺めに行き、「石狩さけまつり」など、馴染みの場所に出かけている。趣味の縫物ができる場面づくりや、好きなビールを飲む機会など、好みが継続できるように支えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の認知状況や身体状況などを考慮して食堂席なども配慮しております。又共同で作業を行うことで関係性の構築にも努めております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院でご退去された方などから、今後の方針についてご相談頂くこともあります。なるべく本人様の意向や家族様の意向に添えるようアドバイスをすることもあります。退去後もご家族様よりお電話がありお話をする場も設けたり、ご逝去された際にも訪問したこともあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活や会話を通じて、思いや要望について確認をしております。又記録に残すことで他の職員も情報を共有して、多方面から情報収集できるよう配慮しております。	会話が難しい場合は表情や動作などから把握している。フェイスシートの他にセンター方式を用い、24時間シートでは本人の姿を分かりやすく書式を工夫し、変化なども追記して更新している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前やご入居後も会話の中から生活歴等や暮らし方も確認しております。なるべく本人の好んでいた活動や行動、環境を提供できるよう配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等に記録しており、他の把握できるよう配慮しております。ケアプラン内容や一日の活動、心身状況等も記録しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様1人1人に担当職員をつけておりますので、担当職員を中心に本人の思いや希望を汲み取り計画に反映しております。また介護計画作成時は担当者会議を行い、他の職員からの意見も頂けるよう会議等も開催し多方面支援できるよう配慮しております。	3か月ごとに計画を見直し、担当職員が作成したモニタリング表にそって会議で意見を交換し、それらを基に介護計画を作成している。日々の記録は計画の目標にそって分かりやすく記載し、いつもと違う変化などは次のモニタリングにつなげている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1週間単位での記録シートを用いて食事量や排便・水分・一日の様子なども記入しております。シートを活用し介護計画の見直し等も行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中でADLの低下、認知症の進行等もありますが、その都度その人に合わせたケアを全職員で考え実施しております。状況に応じて医師の力や医療連携等にも相談し、対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や庭作業を行い、活動の楽しみや地域交流も行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を設定しておりますが、今までご利用していた病院等を引き続きご利用頂くことも可能で、ご利用者様やご家族様が選択できるよう配慮しております。	月2回の訪問診療のほか、市内の専門的な他科受診は、主に職員が同行している。定期や遠方の受診を希望する場合は家族が同行し、状態によっては主治医情報提供書を渡すこともある。記録は病院別に綴り、利用者ごとに管理している。	

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回医療連携体制を行い、看護師に来院を頂き入居様の体調把握に努めております。都度1週間の様子や体調不良等があればお伝えしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	管理者より病院やご家族様に連絡し情報交換を行っております。病状の把握や退院への支援などもすぐに対応できるよう連携を図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々のご生活の中や病状的な問題等含め早い段階からご家族様に支援方法等や事業所内で対応できることをお伝えしております。看取り契約の場合はしっかりと説明し同意書も記入いただき対応しております。	利用契約時に事業所の対応方針や看取りも可能であることも説明し、同意を得ている。重度化から看取りが必要な場合は、主治医の説明と家族の意向にそって看取り方針の契約を交わしている。事例にそった看取り研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網の作成と周知、年2回の救急対応研修を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施と災害時に対応できる、BCP計画を作成している。運営推進会議等で避難協力・避難訓練をみて頂き何をお願い出来るかを相談しています。	夜間の火災を想定し、1回は消防署員の協力を得て実施している。今年中に地震を想定した訓練を予定している。今後は運営推進会議のテーマに入れて避難訓練の研修を考えている。	地震想定避難訓練に向けて事業所内の危険箇所や、利用者ごとにケア別対応を職員間で話し合い記録にして共有できるよう期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は入居者様の尊厳に配慮して対応頂いております。	接遇研修や虐待研修で、不適切な対応や言葉遣いを学んでいる。申し送りは利用者から離れた場所で行い、個人記録類も適切に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で気軽に話できる環境を作るよう配慮しております。そしてその思いに添えるよう配慮しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理することなく、その時の気分や体調に合わせて実施しております。拒否ある方はなるべく本人の気持ちに前向きな時に支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が用意する場合もありますが、できる限り本人と確認しながら、洋服を選んでいただいております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや盛り付けを行って頂いております。食後は茶碗洗いや食器拭き等も行って下さいます。皆さん話ながら楽しんで行っています。	年間行事に合わせた献立で、主食と汁物のみを事業所で調理している。利用者と一緒に調理レクやおやつレクで、おはぎや恵方巻などを作っている。誕生日は好きな献立にしたり、外食することもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今現在は皆さんほぼ7割以上を召し上がっております。食事が少ない方はエンシュアなどにも対応しておりますが、なるべく食事形態等も工夫し召し上がって頂けるよう配慮しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に誤嚥性肺炎予防の為に口腔ケアを行っております。磨き残しがあれば職員がお手伝いします。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間ごとのトイレ誘導やパット交換を行っております。できるだけトイレでの排泄ができるよう支援しております。	排泄状況を「総合記録シート」に記入し、現状が維持できるように個々に合わせた声かけや誘導を行っている。夜間のみポータブルトイレを使用する方もいる。ほとんどの利用者が、昼夜ともにトイレで排泄を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように牛乳やヤクルトを飲んで頂いたり、水分量の把握をしておりますが、それでも難しい場合は医師に相談し下剤等を使用しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人様の気分や体調、生活歴を把握し週2回入浴できるよう支援しております。身体状況や体調に応じてシャワー浴も提供しております。	日曜日を予備日とし、月～土の午前中を中心に一人週2回の入浴を支援している。身体状況に応じてシャワー浴や清拭を行い、清潔を保っている。好みの湯加減で、職員とゆっくり話をしながら入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調・体力・身体状況に合わせて、一日複数回ベッド臥床促す方もいますが、元気な方は夜眠れるよう日中は活動して頂けるよう配慮しています。定期的にシーツ交換も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する際は誤薬を防ぐために職員同士の声かけし服用頂いております。居宅療養管理指導も行い、薬局との連携にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のお手伝いや体操を行っております。入居様の望む活動なるべくできるよう支援しております。又おやつ作りやトランプ等のゲームや創作活動を実施しております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣をお散歩したり、花を見れるなど対応しております。また近くの販売所で野菜を買いに行かれたり、誕生日会では近くのスーパーでおやつを食べに行かれてたり外食にいかれています。	普段は車椅子利用の方も一緒に事業所周辺や近くの公園を散歩したり買い物をすることもある。畑でミニトマトなどを収穫したり、敷地内の花を見て楽しんでいる。遠方に出かける機会は少なくなったが、地域のお祭りやマラソン大会の応援など、積極的に外気に触れている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にもご説明し少量であれば金銭の持ち込みは可能とお話しておりますが、本人・ご家族様の希望により施設でお預かりしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	最近では電話での連絡が増えております。電話を頂いた場合は本人に変わりお話し頂いております。又手紙を書いた際は、本人とポストに出しに行かれています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様と一緒に作成した作品を展示したり、季節ごとに合わせた作品と一緒に作ったりしております。	浴室やトイレなどを中心に居室を配置した回廊型で、食堂や居間には大きな窓から明るい光が注いでいる。居間や廊下には利用者と一緒に制作した飾りや塗り絵、季節感を感じる南瓜のちぎり絵なども掲示されている。広々とした廊下には歩きながら簡単な運動を促す言葉も書かれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂で皆さん楽しく談笑したり、世間話されて楽しまれております。利用者様同士がトラブルにならないように食堂席も配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人様が使っていた家具や生活用品を持ち込んで頂いております。また写真を飾るなどご本人様が落ち着ける空間になるよう支援しております。	クローゼットが備え付けられている居室に、使い慣れたタンスや椅子、テレビや収納ケースなどを持ち込んでいる。家族の写真や好きな花を飾り落ち着いたゆっくり過ごすことができる、その方らしい室内になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりはもちろんのこと、入居者様の残存機能を活用して行うことは行っております。できる限り本人のしたいことや体力を維持・向上できるよう支援しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0197600356		
法人名	社会福祉法人パートナー		
事業所名	グループホームハートの家六番館		
所在地	北海道石狩市花川北6条3丁目16番地		
自己評価作成日	令和6年9月1日	評価結果市町村受理日	令和6年10月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=0197600356-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年10月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

石狩市の住宅街にありますグループホームです。サービス付き高齢者住宅・小規模多機能型居宅介護が併設しており、施設内での利用者様との交流が図れています。ユニット2(3階)では「sincerity service smile」をユニット目標に掲げております。意味としては誠実・誠意・奉仕・おもてなしの心・笑顔絶えないことを意識できる目標です。一人ひとりがお客様にあったケアを提案したり、入居者様の思いに答えられるように日々ケアにあっております。利用者様の介護度は重度の方が多いですが、入居者様の持っている力を最大限活かし、できる方には家事のお手伝いなども行って頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
		○	3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)		1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
		○	3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない			○	4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが			○	3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
		○	3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットごとに理念を設定しており、その目標に向かい日々努力しております。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議にも参加して頂いている。また地域のお祭りに作品を展示し地域の祭りにも参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の町内会の会合にも参加し認知症サポーター養成講座の依頼も行いながら、運営推進会議内でも施設の取り組みなどお話ししている。又管理者は地域に出向き認知症サポーター養成講座を行っている。		
4		3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月の最終金曜日に実施しており、家族様・町内会会長・民生委員様・石狩市の方にも参加して頂き話し合いを行っています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	石狩市内の介護保険事業所、石狩市役所職員、社会福祉協議会職員等集まり、情報共有や石狩市の福祉サービスについて考える場を設けております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内で委員会を発足し、3ヶ月に1回委員会を行っています。その中での課題分析や各ユニット職員への情報提供なども行っております。年2回法人内の研修参加や事業所独自の勉強会を開催しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会でお話した内容を職員に伝達しております。事業所内の勉強会や法人内の勉強会を行っています。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、日常生活自立支援事業や成年後見制度を利用するケースはありませんが、石狩市開催の勉強会などに参加し、支援ができるよう配慮しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様と契約書のご説明を行い、ご家族様からの質問等があればしっかり説明しご理解を頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	各フロアに意見箱の設置や運営推進会議でご意見を頂いております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスやミーティングで職員に意見を頂いております。また個人面談も重視しており提案や意見を聞く場も開いております。必要に応じて職員からの情報等を法人本部にも報告しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回評価制度を導入しており、職員の頑張りなどを評価している。評価面談の中で悩みや意見なども確認し良いことに関して取り組んで頂けるよう支援している。評価面談結果で給料面等も考慮している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修参加、新人研修、個人研修なども導入することで個人のスキルアップにも力を入れています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	石狩市内の団体に所属し、多種職の方と打ち合わせを行っております。グループホーム連絡会の参加等も行い情報交換をしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅・病院・施設に訪問して少しでも安心感をもって頂けるよう配慮しております。認知症の状況に合わせて訪問回数の設定や入居前までに不安が少しでも改善できるよう配慮しております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学対応から不安等の聞き取りを行うことで、ご家族様が安心してお任せ頂けるようにお話しております。又悩み等はしっかり傾聴し双方が納得できるよう配慮しております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人や家族様と面談を行い、必要な支援やサービスを説明しております。身体状況や精神状況に合わせて福祉用具の活用や医療の協力等も相談しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り本人の持っている能力を活かして生活頂けるよう支援しております。一緒に活動することで一体感を持ち利用者様の存在感を感じて頂けるよう配慮しております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人やご家族様の希望に応じて、都度電話でお話ししたり、悩みをお話しできるよう面会して頂き対応しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会随時行っている。外出も可能の為ご家族様と馴染みの場所にも行かれています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の認知状況や身体状況などを考慮して食堂席なども配慮しております。又共同で作業を行うことで関係性の構築にも努めております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院でご退去された方などから、今後の方針についてご相談頂くこともあります。なるべく本人様の意向や家族様の意向に添えるようアドバイスをすることもあります。退去後もご家族様よりお電話がありお話をする場も設けたり、ご逝去された際にも訪問したこともあります		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活や会話を通じて、思いや要望について確認しております。又記録に残すことで他の職員も情報を共有して、多方面から情報収集できるよう配慮しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居前やご入居後も会話の中から生活歴等や暮らし方も確認しております。なるべく本人の好んでいた活動や行動、環境を提供できるよう配慮しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録等に記録しており、他の把握できるよう配慮しております。ケアプラン内容や一日の活動、心身状況等も記録しております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様1人1人に担当職員をつけておりますので、担当職員を中心に本人の思いや希望を汲み取り計画に反映しております。また介護計画作成時は担当者会議を行い、他の職員からの意見も頂けるよう会議等も開催し多方面支援できるよう配慮しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1週間単位での記録シートを用いて食事量や排便・水分・一日の様子なども記入しております。シートを活用し介護計画の見直し等も行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中でADLの低下、認知症の進行等もありますが、その都度その人に合わせたケアを全職員で考え実施しております。状況に応じて医師の力や医療連携等にも相談し、対応しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩や庭作業を行い、活動の楽しみや地域交流も行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を設定しておりますが、今までご利用していた病院等を引き続きご利用頂くことも可能で、ご利用者様やご家族様が選択できるよう配慮しております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に4回医療連携体制を行い、看護師に来院を頂き入居様の体調把握に努めております。都度1週間の様子や体調不良等があればお伝えしております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	管理者より病院やご家族様に連絡し情報交換を行っております。病状の把握や退院への支援などもすぐに対応できるよう連携を図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々のご生活の中や病状的な問題等含め早い段階からご家族様に支援方法等や事業所内で対応できることをお伝えしております。看取り契約の場合はしっかり説明し同意書も記入いただき対応しております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網の作成と周知、年2回の救急対応研修を実施しております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の訓練の実施と災害時に対応できる、BCP計画を作成している。運営推進会議等で避難協力・避難訓練をみて頂き何をお願い出来るかを相談しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は入居者様の尊厳に配慮して対応頂いております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で気軽に話できる環境を作るよう配慮しております。そしてその思いに添えるよう配慮しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	無理することなく、その時の気分や体調に合わせて実施しております。拒否ある方はなるべく本人の気持ちしが前向きな時に支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が用意する場合もありますが、できる限り本人と確認しながら、洋服を選んでいただいております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや盛り付けなども行って頂いております。食後は茶碗洗いや食器拭き等も行って下さいます。皆さん話ながら楽しんで行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今現在は皆さんほぼ7割以上を召し上がっております。食事が少ない方はエンシュアなども対応しておりますが、なるべく食事形態等も工夫し召し上がって頂けるよう配慮しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に誤嚥性肺炎予防の為に口腔ケアを行っております。磨き残しがあれば職員がお手伝いします。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間ごとのトイレ誘導やパット交換を行っております。できるだけトイレでの排泄ができるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように牛乳やヤクルトを飲んで頂いたり、水分量の把握をしておりますが、それでも難しい場合は医師に相談し下剤等を使用しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人様の気分や体調、生活歴を把握し週2回入浴できるよう支援しております。身体状況や体調に応じてシャワー浴も提供しております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調・体力・身体状況に合わせて、一日複数回ベッド臥床促す方もいますが、元気な方は夜眠れるよう日中は活動して頂けるよう配慮しています。定期的にシーツ交換も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬する際は誤薬を防ぐために職員同士の声かけし服用頂いております。居宅療養管理指導も行い、薬局との連携にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のお手伝いや体操を行っております。入居様の望む活動になるべくできるよう支援しております。トランプ等のゲームや創作活動を実施しております。		

グループホームハートの家 六番館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣をお散歩したり、花を見れるなど対応しております。また近くの販売所で野菜を買いに行かれたり、誕生日会では近くのスーパーでおやつを食べに行かれています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様にもご説明し少量であれば金銭の持ち込みは可能とお話しておりますが、本人・ご家族様の希望により施設でお預かりしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	最近では電話での連絡が増えております。電話を頂いた場合は本人に変わりお話し頂いております。又手紙を書いた際は、本人とポストに出しに行かれています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様と一緒に作成した作品を展示したり、季節ごとに合わせた作品と一緒に作ったりしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂で皆さん楽しく談笑したり、世間話されて楽しまれております。利用者様同士がトラブルにならないように食堂席も配慮しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご本人様が使っていた家具や生活用品を持ち込んで頂いております。また写真を飾るなどご本人様が落ち着ける空間になるよう支援しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な環境づくりはもちろんのこと、入居者様の残存機能を活用していただくことは行っております。できる限り本人のしたいことや体力を維持・向上できるよう支援しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホームハートの家六番館

作成日：令和 6年 10月 18日

市町村受理日：令和 6年 10月 21日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	事業所内で、災害時の危険箇所やケア別対応を確認していない。	地震想定避難訓練に向けて事業所内の危険箇所や、利用者ごとにケア別対応を職員間で話し合い記録にして共有していく。	BCPの災害訓練などで危険箇所やケア別の対応を話し合い、職員全員が共有出来るように行っていく。	3ヵ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。